

家具の転倒防止対策と 家具の配置を工夫しよう

近年の地震被害調査では負傷者の約3～5割の方が、屋内における家具類の転倒・落下によって負傷しています。

“自分、そして家族の命を守る”ためにも、金具等を使って家具を固定するほか、家具自体の配置も工夫しておきましょう。



ポール金具



L字金具



防災特集

災害は時として私たちの想像を超える力で、突然襲ってきます。

今回の特集では、今すぐできる災害への備えなど、“自分の命は自分で守る”「自助」の取組を紹介します。

1月の能登半島、4月の豊後水道、そして8月には日向灘、神奈川県西部と、大きな地震が頻発しています。自分、そして家族の命を守るため、すぐにでも災害への備えをしておきましょう。

★危機管理課 ☎ 25- 1 1 8 4

いつ来るかわからない地震に
いますぐ、備えよう

自分、そして
家族のために！

市内にお住いの早野さん一家と一緒に備えてみましょう！

非常時持出品（防災グッズ）・ 備蓄品を備えよう

今すぐ必要なものを **CHECK**

災害の「備え」チェックリスト
(首相官邸より)



自宅が被災したときは、避難所等の安全な場所に避難して生活を送ることになります。

災害発生直後は、支援物資が届くまで時間がかかる可能性があります。避難所での生活を想定し、非常時持出品（防災グッズ）を備えましょう。

特に、首都直下地震等の大規模災害では、食品や生活物資が店頭から消えるなど、物流機能の低下や、ライフライン（電気・ガス・水道）の停止が想定されます。

水と食料は、3日分以上は備えておきましょう。

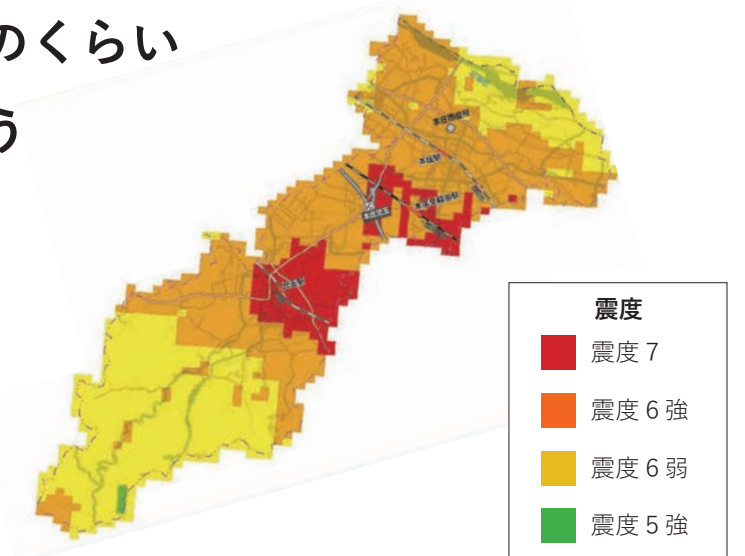
命を守るため、**今からできる4つの備え**をしましょう。

自分の住む地域がどのくらい 揺れるのか確認しよう

右の図は、市に最も大きな被害をもたらす「関東平野北西縁断層帯地震」の被害想定に基づいた最大震度を地図上に表したものです。

本庄市でも**震度7**や**震度6強**など大きな震度を伴う地震が起こる可能性を示しています。自分が住む地域で想定されている震度を確認しておきましょう。

本庄市地震ハザードマップはこちら⇒



耐震性のある家に住んでいる か確認しよう

昭和56年6月1日から住宅の耐震基準が大きく変わっており、それ以前の基準を「旧耐震」、それ以降を「新耐震」と呼びます。旧耐震の木造住宅は、大きな地震で倒壊してしまう可能性が高く、阪神淡路大震災の際には、多くの方が旧耐震の住宅の倒壊により亡くなっています。

自宅の耐震性を確認し、必要に応じて耐震改修を行いましょう。

(一財)日本建築防災協会
「誰でもできるわが家の耐震診断」

簡単な質問に答えることで、自宅の強さが診断できます。



POINT 事前確認が大切！

災害情報がより早く・正確に確認できます

防災行政無線を電話やメールで確認

市では、防災行政無線で放送した内容をお知らせするメール配信サービスや、電話で確認できる自動応答サービスを行っています。

■メール配信サービス

① bousai.honjo-city@raidan.ktaiwork.jp

に空メールを送信

② 送られてきた案内メールに沿って登録

■行政無線自動応答サービス

☎ 22- 1 3 5 1 (有料)

☎ 0120-17-8426 (無料)

■ほんじょう FM

FM89.3MHz または専用アプリ等

避難所の開設・混雑状況を確認

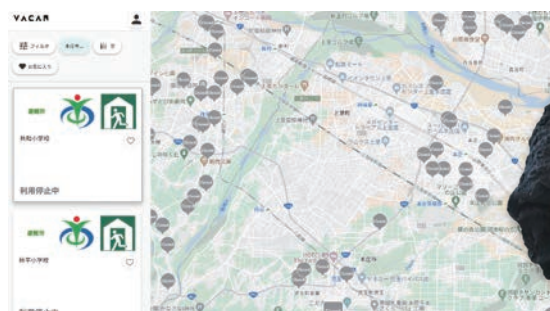
インターネット上で指定避難所の開設・混雑情報がリアルタイムで確認できるサービス「VACAN Maps」があります。

■確認方法

右記コードからアクセス



VACAN
Maps



何事も事前の準備
が大切なんだね。

